

報告第1号

第26回岩内町地域公共交通活性化協議会の結果について

令和4年1月13日に開催した、第26回岩内町地域公共交通活性化協議会の結果について、下記のとおり報告します。

記

日時 令和4年1月13日(木) 13:00～13:40
場所 岩内町役場庁舎 3階 委員会室
出席者 25名中 17名出席

1. あいさつ 手塚会長

2. 報告事項

- ・報告第1号 いわない循環バス「ノッタライン」の利用状況について
- ・報告第2号 円山地域乗合タクシー実証運行事業の利用状況について
- ・報告第3号 円山地域乗合タクシー実証運行事業の停留所廃止に伴う運行経路の変更について
- ・報告第4号 岩内町運転免許証自主返納支援事業の決定状況について
《質疑》
 - ・岩内町運転免許証自主返納支援事業による、高齢者ドライバーによる交通事故発生件数の推移は。
⇒件数は本日持ち合わせていないが、全体的に見ても減っている印象。
また、当該制度が始まって以降、高齢者ドライバーの運転免許証返納件数は例年の倍以上に増加していることから、一定程度の効果はあったものと考えている。

3. 議題

- ・議案第1号 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)について
- ・議案第2号 いわない循環バス「ノッタライン」の停留所廃止・新設に伴う運行経路の変更について
- ・議案第3号 いわない循環バス「ノッタライン」の停留所名の変更について
《質疑》
 - ・いわない循環バス「ノッタライン」停留所名の変更の実施時期は。
⇒令和4年4月1日を予定している。

4. その他

後志総合振興局より、後志地域広域で作成している「後志地域公共交通計画」の概要について下記のとおり説明。

《概要》

昨年4月に法定協議会を設置し、後志管内における幹線バスを対象に向こう5年間の計画を作成中。後志管内は、北海道新幹線の開通や高規格道路の共和・倶知安までの延長などで、交通インフラが様変わりしている状況にある。

ただ一方で、人口減少による公共交通利用者の落ち込みや乗務員不足など、地域交通を取り巻く環境には課題が山積している。

こうした課題の解決に向けて、各路線ごとの利用状況調査やアンケートを実施し、現状把握したうえで、今後の方針等を計画に反映していく。
令和4年度の早い段階には完成を目指し、作成を進めている。

第27回岩内町地域公共交通活性化協議会の結果について

令和4年2月18日に書面開催した、第27回岩内町地域公共交通活性化協議会の結果について、下記のとおり報告します。

記

日時 令和4年2月18日（金） 意見〆切
議案 円山地域乗合タクシー実証運行事業の実証運行継続について
結果 承認

○寄せられたご意見・ご質問

- (1) 実証運行期間（令和4年4月1日～令和5年3月31日）、運賃、路線図などの資料を作成してみたいか。

【回答】

第28回岩内町地域公共交通活性化協議会の際に資料としてお示しします。

- (2) 今までは3便→入浴→4便（帰宅）はほぼいなかったということで、認識しました。（最終便の往路で使えないなら、同じ理由で3便利用者が減るのかなと疑問を感じたからです）

【回答】

3便利用者については、復路利用の方が大半を占めていることから、減便による影響は少ないと考えております。乗車データや利用者の意見等も踏まえ、今後も検証に努めます。

- (3) 円山地域乗合タクシーは、地域住民の温泉需要に関しては一定の利便性を確保していると思いますが「実際に利用する人員」と経費のつり合いがとれているのか疑問があります。

ただし、事業の縮小（減便）により事業の積極性が失われると、実証データとしてのデータはマイナス要因を示す割合が増す可能性がありますので、配慮が必要と思われます。

また、小中一貫の義務教育学校の設立を控えている事も考慮して、ノッタラインと合わせて「町全域対象」「スクールバスの導入」も視野と考慮にいれ、次のステップへの移行も模索するべきと考えます。

【回答】

この度の検証結果からも実利用者数は60人弱と想定され、公共財としての費用対効果について検討の余地がありますが、日帰り入浴以外の利用者もいることや、公共交通不便地域の解消、地域活性化につながる運行のあり方を目指すため、実証運行を継続させていただきたいと考えました。

今後においても、持続可能で地域の活性化につながる乗合タクシーについて様々な角度から検証してまいります。

また、ノッタラインと合わせた義務教育学校のスクールバスについては、現段階において具体的な検討には至っておりませんが、ご意見の点も踏まえ、教育委員会と必要な検討を進めてまいります。